

「第3次国立大学法人等施設整備5か年計画」について

平成23年9月
文部科学省大臣官房文教施設企画部

1. 背景・経緯

国立大学法人等（※）の施設は、人材養成や独創的・先端的な学術研究、高度先進医療の推進等を実現するための基盤であり、その整備は極めて重要。

これまで文部科学省では、平成13年より2次にわたり、科学技術基本計画を受けた「施設整備5か年計画」を策定し、計画的な施設整備を推進。

しかしながら、依然として残る老朽化、狭隘化などの課題に加え、東日本大震災の被害から明らかとなった課題への早急な対応が必要。

このため、23年度からの計画的・重点的な施設整備に向け、第4期科学技術基本計画を受けた「第3次国立大学法人等施設整備5か年計画」を策定し、計画的・重点的な施設整備を推進。

※大学共同利用機関法人、独立行政法人国立高等専門学校機構を含む

2. 調査研究協力者会議における検討

本計画の検討に当たっては、「今後の国立大学法人等施設の整備充実に関する調査研究協力者会議（主査：木村 孟 東京都教育委員会 委員長）」において検討を重ね、8月25日に報告書を取りまとめ公表。

文部科学省では、この報告書を踏まえ、8月26日に文部科学大臣決定として「第3次国立大学法人等施設整備5か年計画」を策定。

3. 第3次国立大学法人等施設整備5か年計画の骨子

重点整備

（1）老朽改善整備

- ・防災機能の強化、基盤としての質の確保

①老朽施設の改善（約400万㎡）

- ・建物の耐震化（平成27年度までに完了）、非構造部材の耐震対策

②基幹設備（ライフライン）の改善

- ・安全性・機能面で問題のある基幹設備の改善

（2）狭隘解消整備（約80万㎡）

- ・卓越した教育研究拠点の整備
- ・若手研究者、留学生の増加に対応した整備

（3）大学附属病院の再生（約70万㎡）

- ・再開発整備の着実な推進、災害時の救命救急医療拠点整備

所要額（推計） 約1兆1,000億円

システム改革

（1）施設マネジメントの推進

（2）多様な財源を活用した施設整備

科学技術基本計画と国立大学法人等の施設整備施策

	科学技術基本法に基づく 科学技術施策	国立大学法人等の 施設整備施策																		
平成8 ～12年度	第 1 期科学技術基本計画 「大学等の老朽化・狭隘化する施設を 計画的に整備」 (平成8年7月2日 閣議決定)	科学技術基本計画を受け、計画的に整備																		
平成13 ～17年度	第 2 期科学技術基本計画 (平成13年3月30日 閣議決定) 「大学等の施設整備を最重要課題 とし施設整備計画を策定し、計画的に実施」	国立大学等施設緊急整備 5 か年計画 (平成13年4月18日 文部科学省) 所要経費 約1兆6,000億円 ◇整備目標 約600万㎡ (達成率71%) <table><tr><th></th><th><整備目標></th><th><達成率></th></tr><tr><td>1. 優先的整備目標</td><td>約210万㎡</td><td>(101%)</td></tr><tr><td>①大学院の狭隘解消</td><td>約120万㎡</td><td>(99%)</td></tr><tr><td>②卓越した研究拠点</td><td>約40万㎡</td><td>(92%)</td></tr><tr><td>③附属病院</td><td>約50万㎡</td><td>(114%)</td></tr><tr><td>2. 老朽施設</td><td>約390万㎡</td><td>(54%)</td></tr></table> ◇システム改革 大学改革と一体となった施設の効率的・弾力的利用 などに取り組む		<整備目標>	<達成率>	1. 優先的整備目標	約210万㎡	(101%)	①大学院の狭隘解消	約120万㎡	(99%)	②卓越した研究拠点	約40万㎡	(92%)	③附属病院	約50万㎡	(114%)	2. 老朽施設	約390万㎡	(54%)
	<整備目標>	<達成率>																		
1. 優先的整備目標	約210万㎡	(101%)																		
①大学院の狭隘解消	約120万㎡	(99%)																		
②卓越した研究拠点	約40万㎡	(92%)																		
③附属病院	約50万㎡	(114%)																		
2. 老朽施設	約390万㎡	(54%)																		
平成18 ～22年度	第 3 期科学技術基本計画 (平成18年3月28日 閣議決定) 「老朽化施設の再生を中心とした 整備目標施設整備計画を策定し、 計画的に整備」	第 2 次国立大学等施設緊急整備 5 か年計画 (平成18年4月18日 文部科学省) 所要経費 約1兆2,000億円 ◇整備目標 約540万㎡ (達成率90%) <table><tr><th></th><th><整備目標></th><th><達成率></th></tr><tr><td>1. 教育研究基盤の再生</td><td>約480万㎡</td><td>(88%)</td></tr><tr><td>①老朽再生整備</td><td>約400万㎡</td><td>(85%)</td></tr><tr><td>②狭隘解消整備</td><td>約80万㎡</td><td>(101%)</td></tr><tr><td>2. 大学附属病院の再生</td><td>約60万㎡</td><td>(114%)</td></tr></table> ◇システム改革 施設マネジメントや新たな整備手法等のシステム 改革を一層推進する		<整備目標>	<達成率>	1. 教育研究基盤の再生	約480万㎡	(88%)	①老朽再生整備	約400万㎡	(85%)	②狭隘解消整備	約80万㎡	(101%)	2. 大学附属病院の再生	約60万㎡	(114%)			
	<整備目標>	<達成率>																		
1. 教育研究基盤の再生	約480万㎡	(88%)																		
①老朽再生整備	約400万㎡	(85%)																		
②狭隘解消整備	約80万㎡	(101%)																		
2. 大学附属病院の再生	約60万㎡	(114%)																		
平成23 ～27年度	第 4 期科学技術基本計画 (平成23年8月19日 閣議決定) 「重点的に整備すべき施設等に関する国立大学法人全体の施設整備計画 を策定し、安定的、継続的な整備が可能となるよう支援の充実を図る」	第 3 次国立大学法人等施設整備 5 か年計画 (平成23年8月26日 文部科学大臣決定) 所要経費 約1兆1,000億円 ◇整備目標 約550万㎡ <table><tr><th></th><th><整備目標></th></tr><tr><td>1. 老朽改善整備</td><td>約400万㎡</td></tr><tr><td>2. 狭隘解消整備</td><td>約80万㎡</td></tr><tr><td>3. 大学附属病院の再生</td><td>約70万㎡</td></tr></table> ◇システム改革 施設マネジメントや多様な財源を活用した施設整備などのシステム改革を一層推進する		<整備目標>	1. 老朽改善整備	約400万㎡	2. 狭隘解消整備	約80万㎡	3. 大学附属病院の再生	約70万㎡										
	<整備目標>																			
1. 老朽改善整備	約400万㎡																			
2. 狭隘解消整備	約80万㎡																			
3. 大学附属病院の再生	約70万㎡																			

